

① マスタリングとは？

マスタリングとは？

【マスタリングとは？】

ミックスダウンが完了した2Mixファイルなどを、流通させるメディアに適した音量・音質に調整する作業のこと。「マスタリングエンジニア」と呼ばれる専門の技師によって行われるのが一般的だが、自宅マスタリングも可能。

【マスタリングが必要になるケース】

- CD用と配信用など、使用目的別に異なるマスターデータ作りたい場合
- 複数の楽曲を含むシングルあるいはアルバムを作りたい場合
- ミキシング作業に戻れない状況で、サウンド全体の音質音量を再調整したい場合

マスタリングの作業内容

- ① 音質・音像の調整
- ② 音量の調整
- ③ 曲の入り&余韻&曲間の調整とCDテキストの埋め込み
- ④ マスターデータ作成とチェック

① 音質・音像の調整

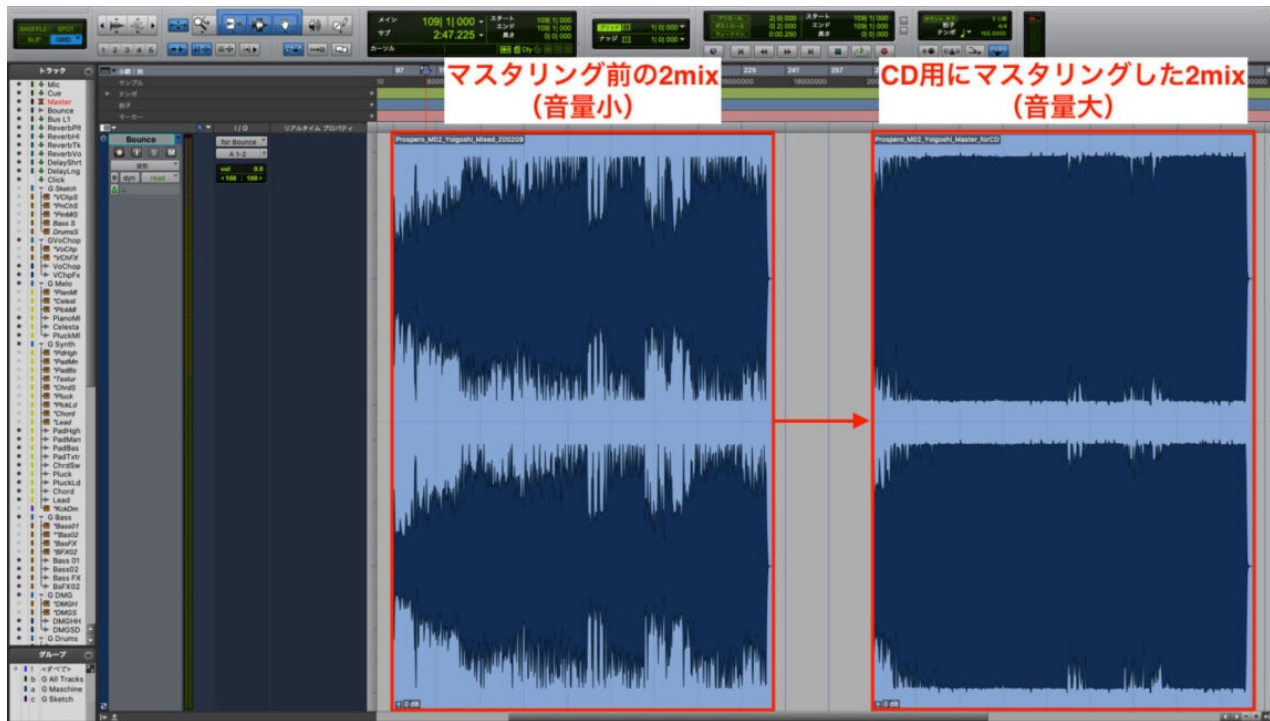
イコライザーやコンプレッサー、サチュレーターなどのエフェクトを使って音質や音像を調整する。ミキシングのように細かい音作りはせず、いずれも微細な調整作業が中心。



マスタリング用コンプの例
BRAINWORX「SHADOW HILLS MASTERING COMPRESSOR」

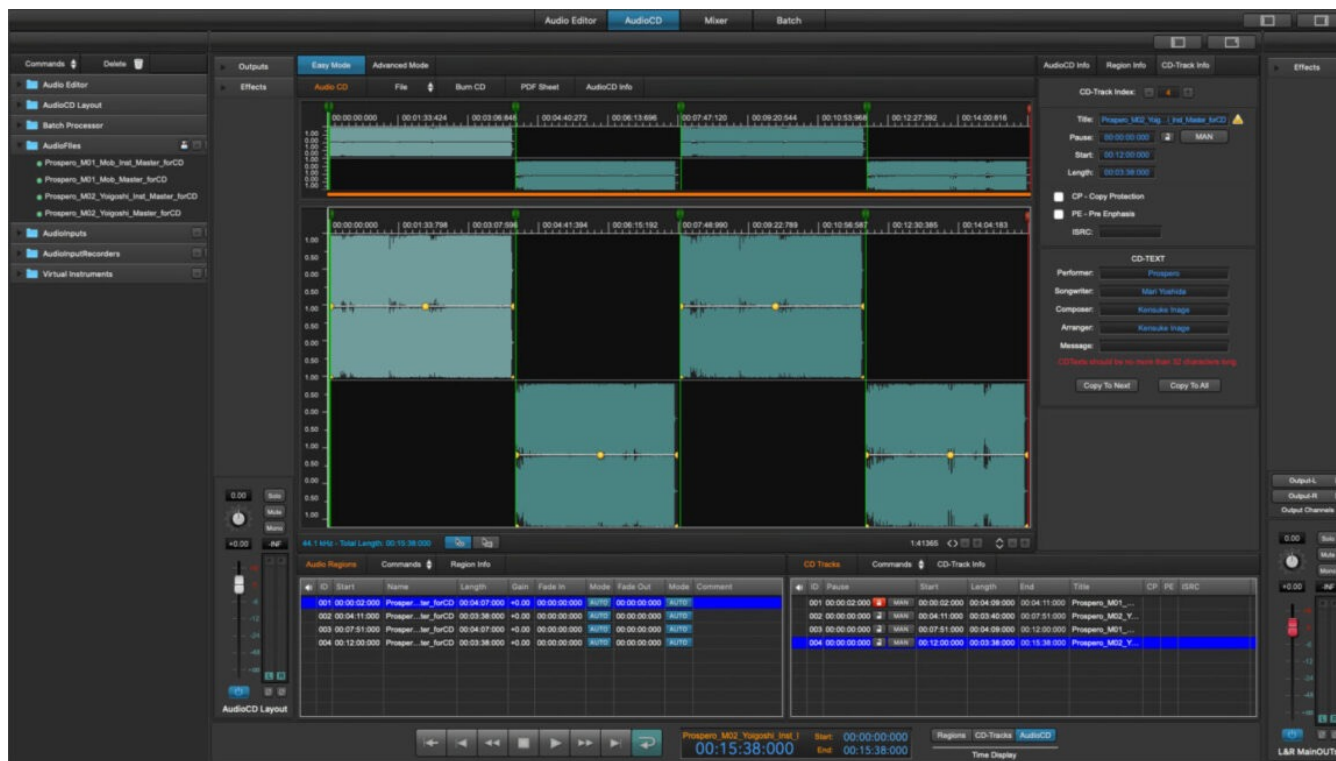
② 音量の調整

使用目的にマッチした音圧に調整する作業。主にコンプレッサーやリミッターでピークを抑えつつ、マキシマイザーで全体の音圧を稼ぐ。場合によってはイコライザーやオートメーションでコントロールすることも。



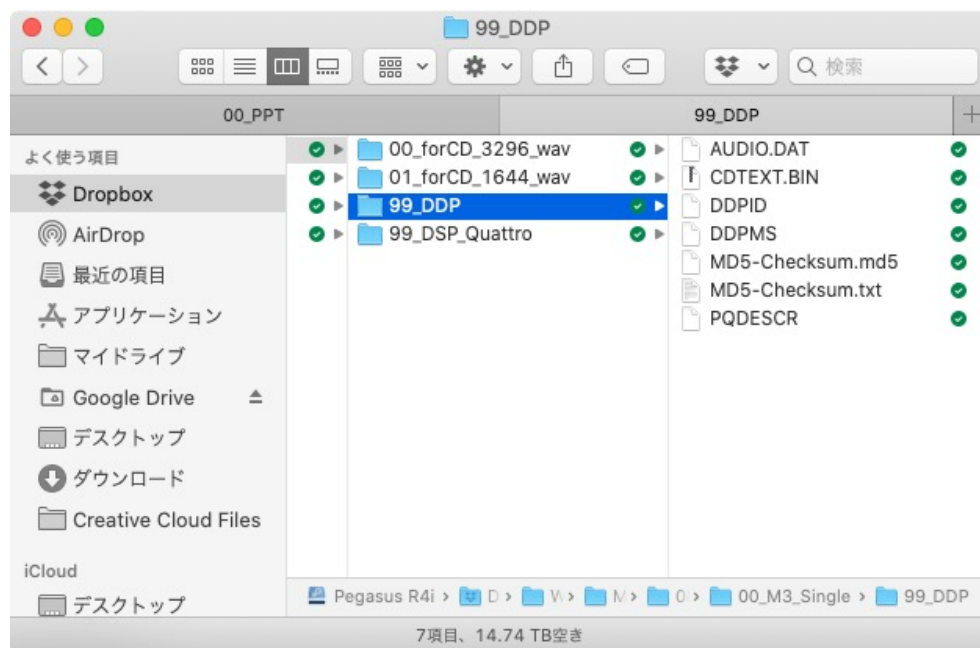
③ 曲の入り&余韻&曲間の調整とCDテキスト埋め込み

曲の入りや余韻、次の曲が始まるまでの曲間を調整したり、CDテキストを埋め込むのもマスタリング作業の一環。



④ マスターデータ作成とチェック

配信用ならばWAVで、CD用ならばマスターCDを焼いたりDDPと呼ばれる専用のフォーマットで書き出しを行う。最後に、全曲通しで聞いてノイズや不具合がないかを確認して作業完了。



CDプレス用のDDPデータ